

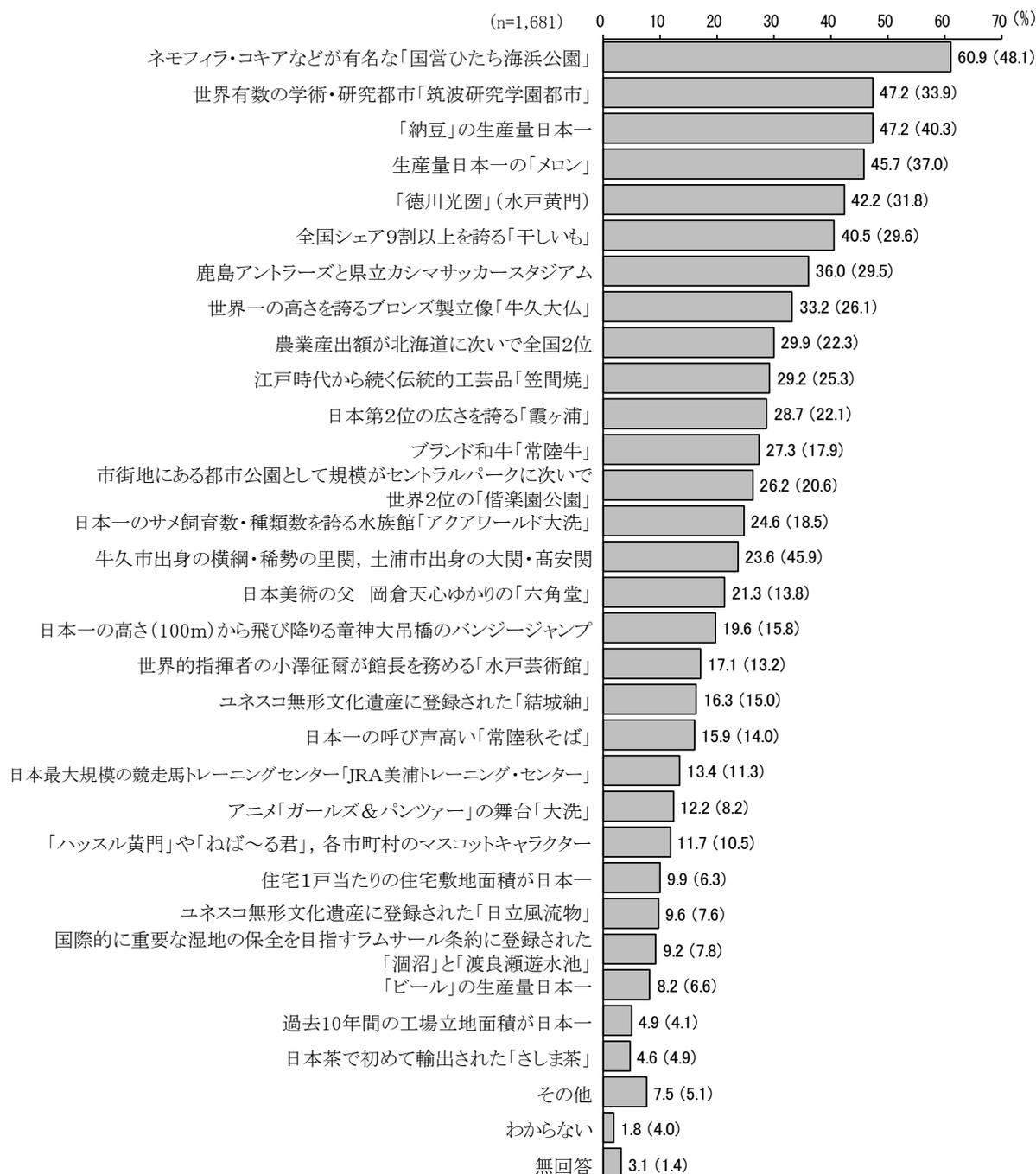
# I 茨城県民の郷土愛

## 1. 茨城県の魅力

(1) 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

－「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」が約6割－

問1 茨城県には、以下のような特徴がありますが、あなたが知人に自慢したいもの（自慢したいこと）は何ですか。（○はいくつでも）



※( )内の数値は、平成29年の調査結果（個別面接聴取法で実施）

※「鹿島アントラーズと県立カシマサッカースタジアム」は、平成29年では「クラブワールドカップで準優勝を果たした鹿島アントラーズ」、 「牛久市出身の横綱・稀勢の里関、土浦市出身の大関・高安関」は、平成29年では「茨城県牛久市出身の横綱・稀勢の里関、土浦市出身の大関・高安関」

知人に自慢したいもの（自慢したいこと）としては、「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」（60.9%）が約6割で最も高く、次いで、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」（47.2%）と「納豆」の生産量日本一」（47.2%）が約5割、「生産量日本一の「メロン」」（45.7%）が4割台半ばで続いている。

－「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」と「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」が共に約13ポイント増加－

前回調査（昨年）と比べると、「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」と「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」が共に約13ポイント増加している。

－県北で「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」が7割台半ば、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」が5割超－

地域別でみると、県北では「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」（74.4%）が7割台半ば、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」（52.0%）が5割を超えてそれぞれ最も高くなっている。

－鹿行で「鹿島アントラーズと県立カシマサッカースタジアム」が約7割、「生産量日本一の「メロン」」が6割超－

地域別でみると、鹿行では「鹿島アントラーズと県立カシマサッカースタジアム」（69.1%）が約7割、「生産量日本一の「メロン」」（62.4%）が6割を超えてそれぞれ最も高くなっている。

－県南で「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」が5割台半ば、「世界一の高さを誇るブロンズ製立像「牛久大仏」」が4割台半ば－

地域別でみると、県南では「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」（56.2%）が5割台半ば、「世界一の高さを誇るブロンズ製立像「牛久大仏」」（44.0%）が4割台半ばとそれぞれ最も高くなっている。

－女性で「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」が男性より約16ポイント、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」が男性よりも約10ポイント高い－

性別でみると、「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」は、女性（68.9%）が男性（52.6%）よりも約16ポイント、「全国シェア9割以上を誇る「干しいも」」は、女性（45.4%）が男性（35.1%）よりも約10ポイント高くなっている。

－女性の18～29歳、30代、70歳以上で「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」が7割台半ば－

性・年齢別でみると、「ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」」は、女性の18～29歳（74.7%）、30代（76.9%）、70歳以上（76.6%）で7割台半ばと高くなっている。

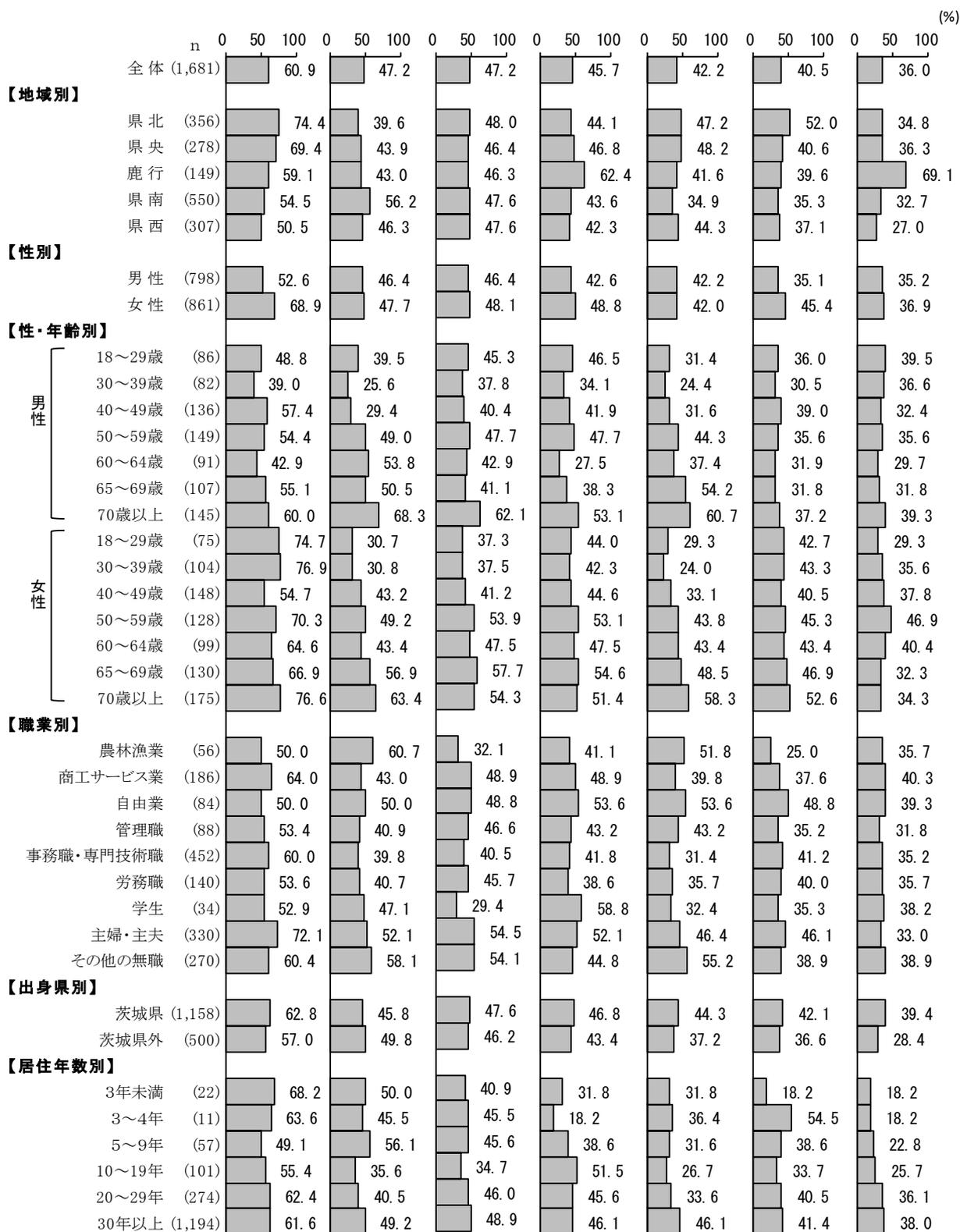
－男性の70歳以上で「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」が約7割－

性・年齢別でみると、「世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」」は、男性の70歳以上（68.3%）で約7割と最も高くなっている。

図I 1-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）

（地域別，性別，性・年齢別，職業別，出身県別，居住年数別—上位14項目）

ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」  
 世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」  
 「納豆」の生産量日本一  
 生産量日本一の「メロン」  
 「徳川光圀」（水戸黄門）  
 全国シェア9割以上を誇る「干しいも」  
 鹿島アントラーズと県立カシマサッカースタジアム



〈続き〉 図 I 1-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）  
 （地域別，性別，性・年齢別，職業別，出身県別，居住年数別—上位14項目）

世界一の高さを誇るブロンズ製立像「牛久大仏」  
 農業産出額が北海道に次いで全国2位  
 江戸時代から続く伝統的工芸品「笠間焼」  
 日本第2位の広さを誇る「霞ヶ浦」  
 ブランド和牛「常陸牛」  
 市街地にある都市公園として規模がセントラルパークに次いで世界2位の「偕楽園公園」  
 日本一のサメ飼育数・種類数を誇る水族館「アクアワールド大洗」

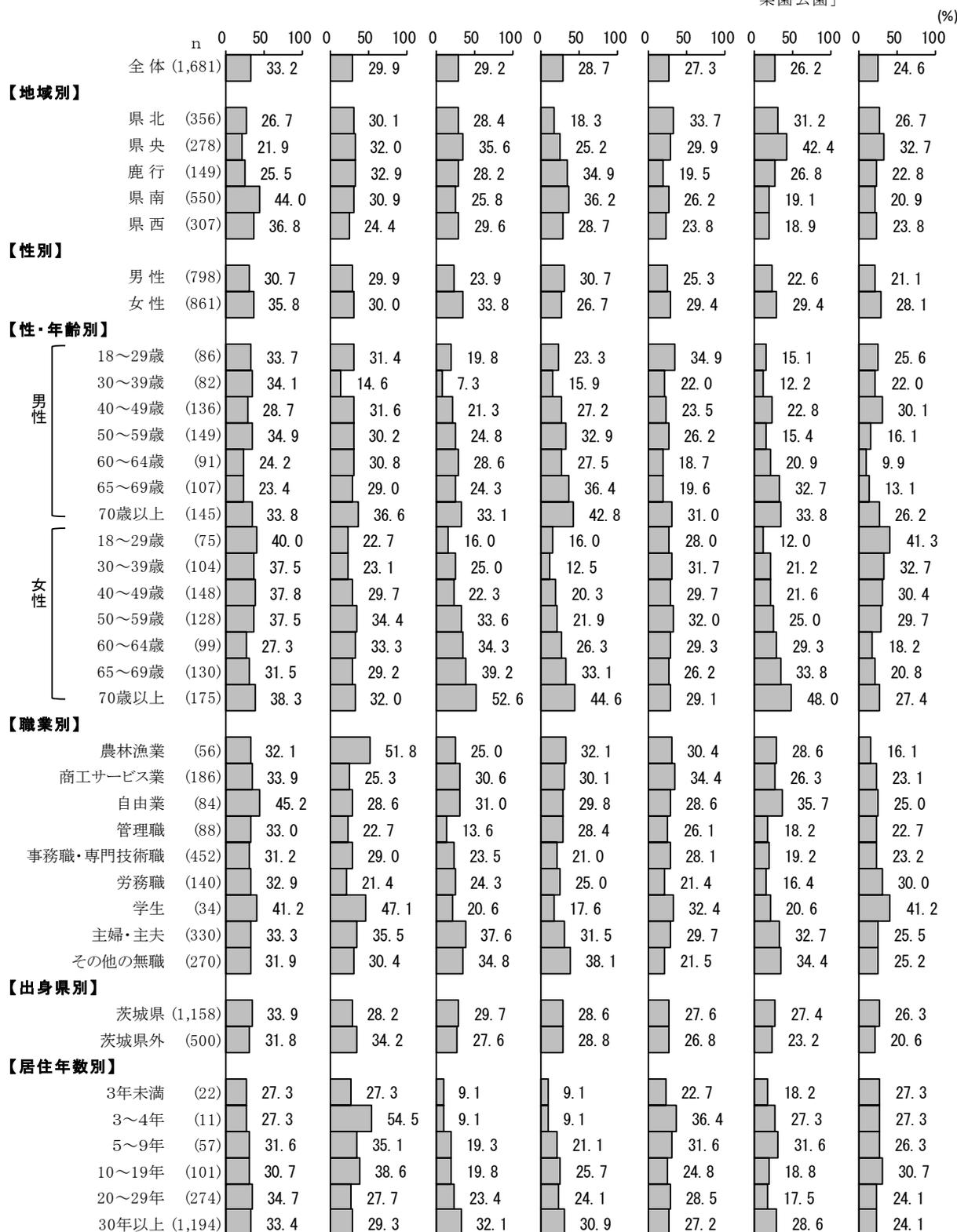


表 I 1-1 知人に自慢したいもの（自慢したいこと）  
（前回調査との比較－上位5項目）

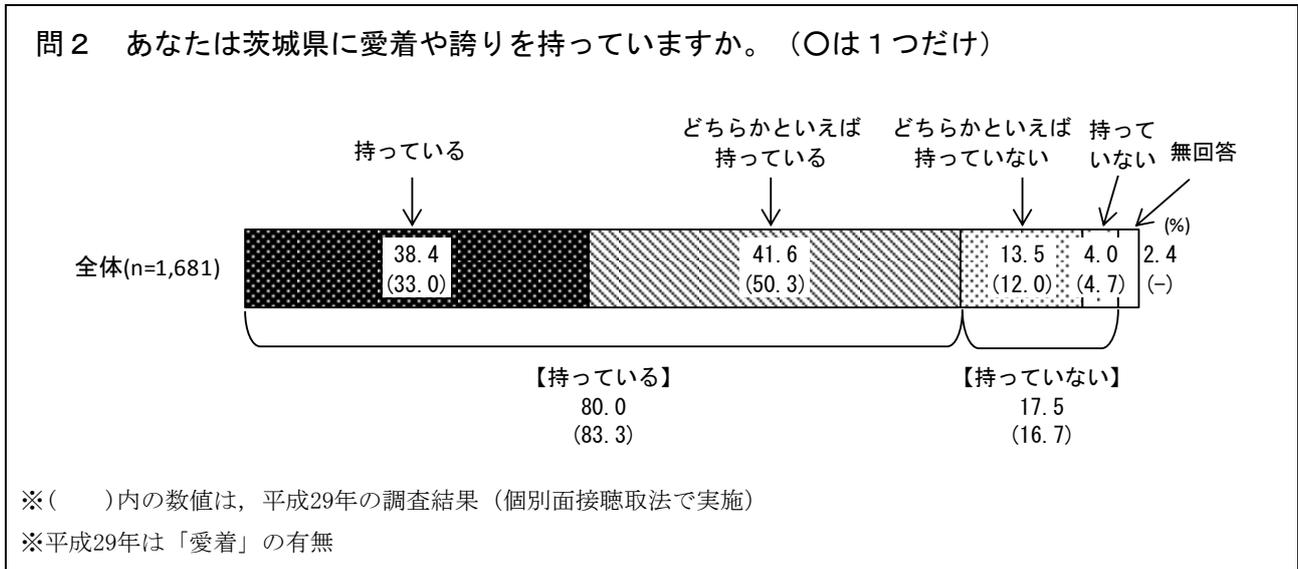
（単位：％）

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査（H30） n=1,681	ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」 60.9	世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」 47.2	「納豆」の生産量日本一 47.2	生産量日本一の「メロン」 45.7	「徳川光圀」（水戸黄門） 42.2
前回調査（H29） n=1,072	ネモフィラ・コキアなどが有名な「国営ひたち海浜公園」 48.1	茨城県牛久市出身の横綱・稀勢の里関，土浦市出身の大関・高安関 45.9	「納豆」の生産量日本一 40.3	生産量日本一の「メロン」 37.0	世界有数の学術・研究都市「筑波研究学園都市」 33.9

## 2. 茨城県に対する愛着や誇り

(1) 茨城県に対する愛着や誇りの有無

－【持っている】が8割－

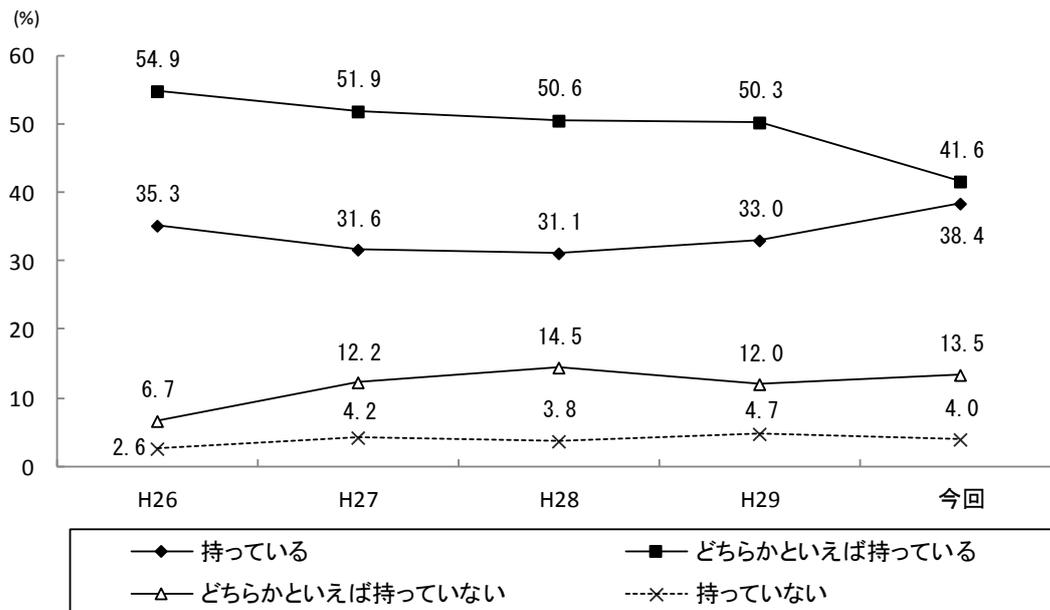


茨城県に対して、愛着や誇りを「持っている」(38.4%)と「どちらかといえば持っている」(41.6%)を合わせた【持っている】(80.0%)が8割となっている。一方、「どちらかといえば持っていない」(13.5%)と「持っていない」(4.0%)を合わせた【持っていない】(17.5%)は約2割となっている。

－【持っている】が約3ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、【持っている】が約3ポイント減少している。

図I 2-1 茨城県に対する愛着や誇りの有無(時系列)



**ー 県北と県央で【持っている】が8割台半ばー**

地域別でみると，【持っている】は，県北（85.9%）と県央（85.6%）で8割台半ばと高くなっている。

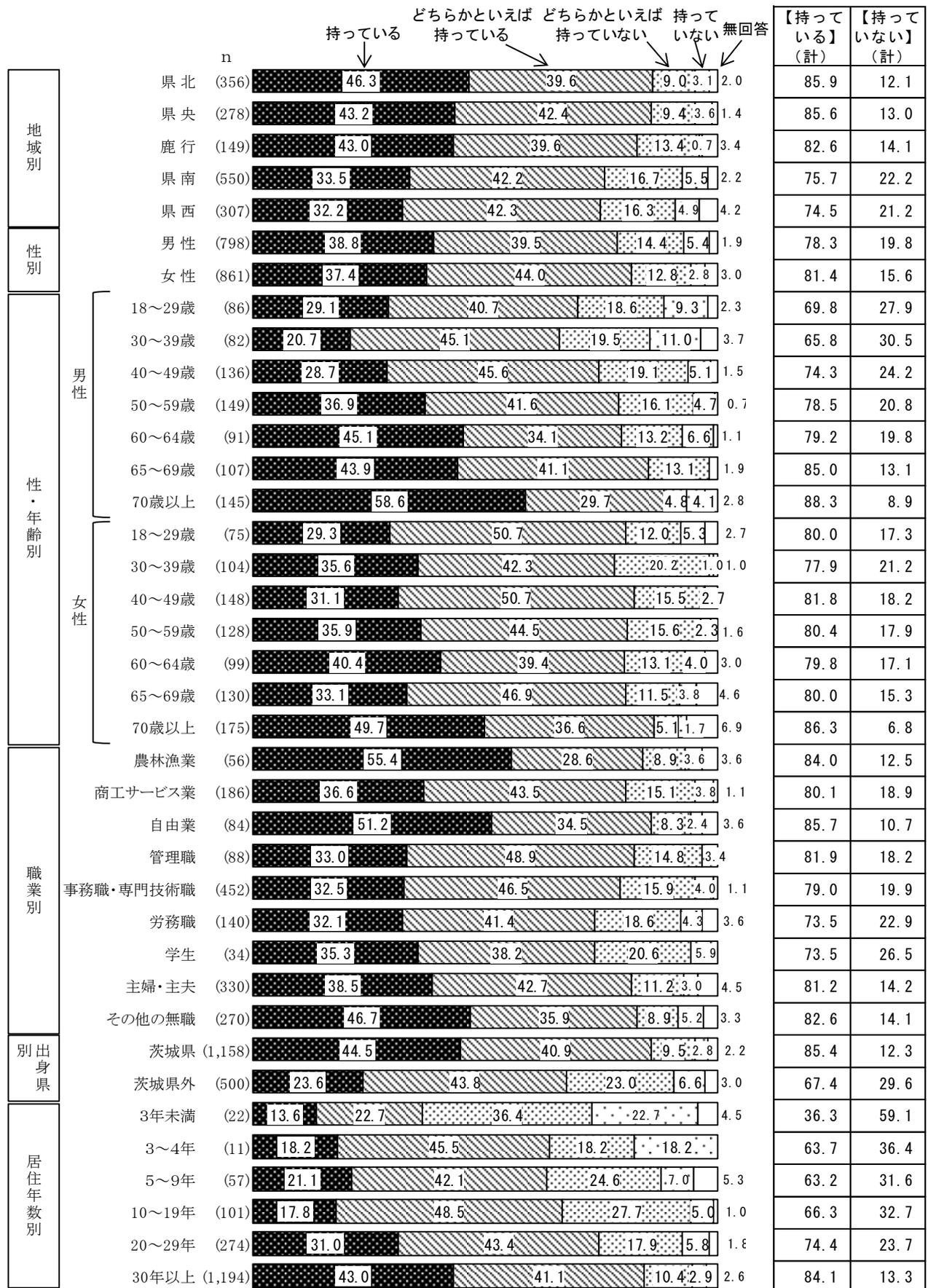
**ー 男性の70歳以上で【持っている】が約9割ー**

性・年齢別でみると，【持っている】は，男性の70歳以上（88.3%）で約9割と最も高く，次いで，女性の70歳以上（86.3%）で8割台半ばと高くなっている。

**ー 茨城県出身者で【持っている】が茨城県外出身者よりも18ポイント高いー**

出身県別でみると，【持っている】は，茨城県出身者（85.4%）が茨城県外出身者（67.4%）よりも18ポイント高くなっている。

図 I 2-2 茨城県に対する愛着や誇りの有無  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別)



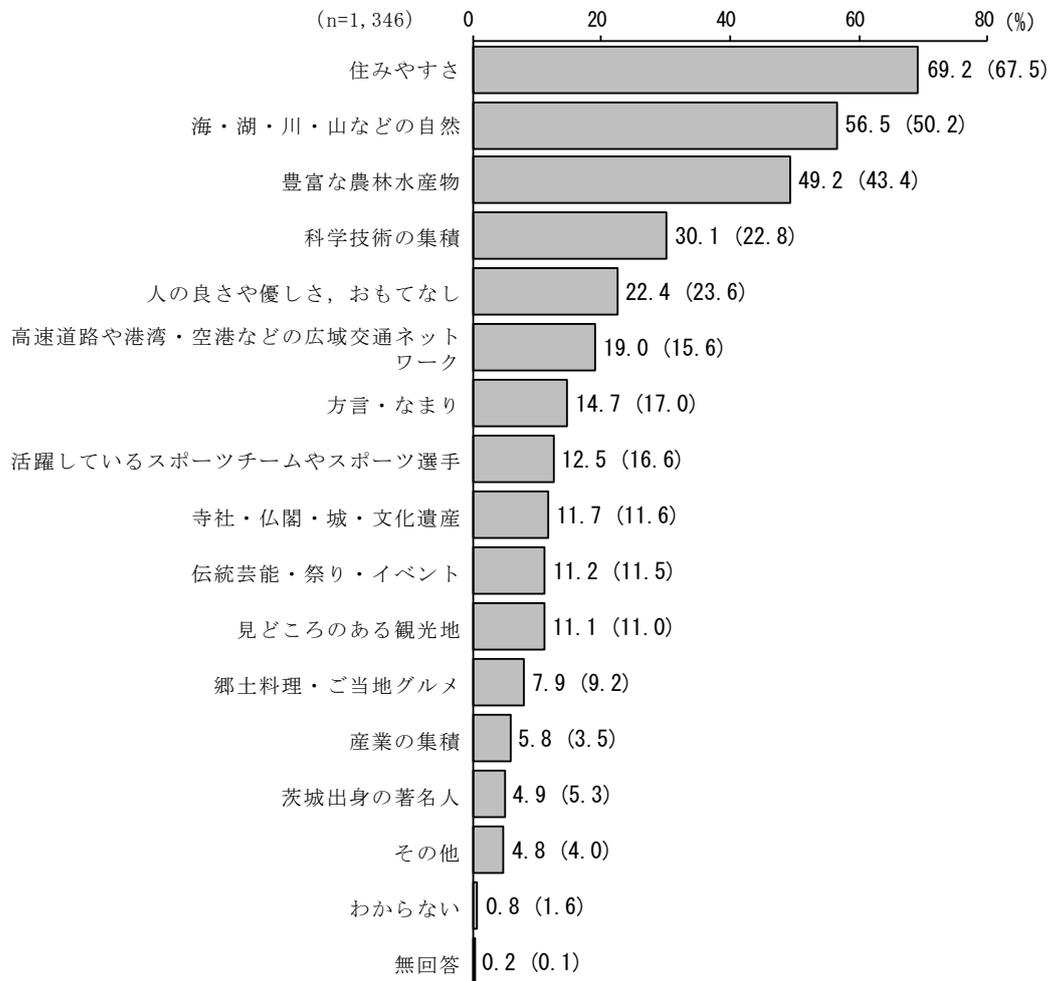
(2) 茨城県に愛着や誇りを感じるどころ

－「住みやすさ」が約7割－

(問2で「1 持っている」, 「2 どちらかといえば持っている」と回答した方のみ)

問2-1 あなたは、茨城県のどのようなところに愛着や誇りを感じますか。

(〇はいくつでも)



※( )内の数値は、平成29年の調査結果（個別面接聴取法で実施）

※平成29年は「愛着を感じるどころ」

茨城県に愛着や誇りを【持っている】と回答した方に、愛着や誇りを感じるどころを聞いたところ、「住みやすさ」(69.2%)が約7割で最も高く、次いで、「海・湖・川・山などの自然」(56.5%)が5割台半ば、「豊富な農林水産物」(49.2%)が約5割で続いている。

－「科学技術の集積」が約7ポイント増加－

前回調査（昨年）と比べると、「科学技術の集積」が約7ポイント、「海・湖・川・山などの自然」「豊富な農林水産物」が共に約6ポイントいずれも増加している。

－県央，鹿行で「豊富な農林水産物」が5割台半ば－

地域別でみると、「豊富な農林水産物」は，鹿行（56.9%），県央（55.5%）で5割台半ばと高くなっている。

－県南で「科学技術の集積」が約4割－

地域別でみると、「科学技術の集積」は，県南（40.4%）で約4割と最も高くなっている。

－女性の30代で「住みやすさ」が約8割－

性・年齢別でみると、「住みやすさ」は，女性の30代（77.8%）で約8割と最も高く，次いで，男性の18～29歳（75.0%）で7割台半ばと高くなっている。

－女性の65～69歳で「海・湖・川・山などの自然」が約7割－

性・年齢別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は，女性の65～69歳（69.2%）で約7割と最も高くなっている。

－男女の70歳以上で「豊富な農林水産物」が6割台前半－

性・年齢別でみると、「豊富な農林水産物」は，男性の70歳以上（64.1%），女性の70歳以上（62.9%）で6割台前半と高くなっている。

－男性の70歳以上で「科学技術の集積」が約5割－

性・年齢別でみると、「科学技術の集積」は，男性の70歳以上（49.2%）で約5割と最も高くなっている。

－茨城県出身者で「海・湖・川・山などの自然」が茨城県外出身者よりも約11ポイント高い－

出身県別でみると、「海・湖・川・山などの自然」は，茨城県出身者（59.5%）が茨城県外出身者（48.1%）よりも約11ポイント高くなっている。

－茨城県外出身者で「科学技術の集積」が茨城県出身者よりも約9ポイント高い－

出身県別でみると、「科学技術の集積」は，茨城県外出身者（36.5%）が茨城県出身者（27.7%）よりも約9ポイント高くなっている。

図 I 2-1-1 茨城県に愛着や誇りを感じるどころ  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別—上位7項目)

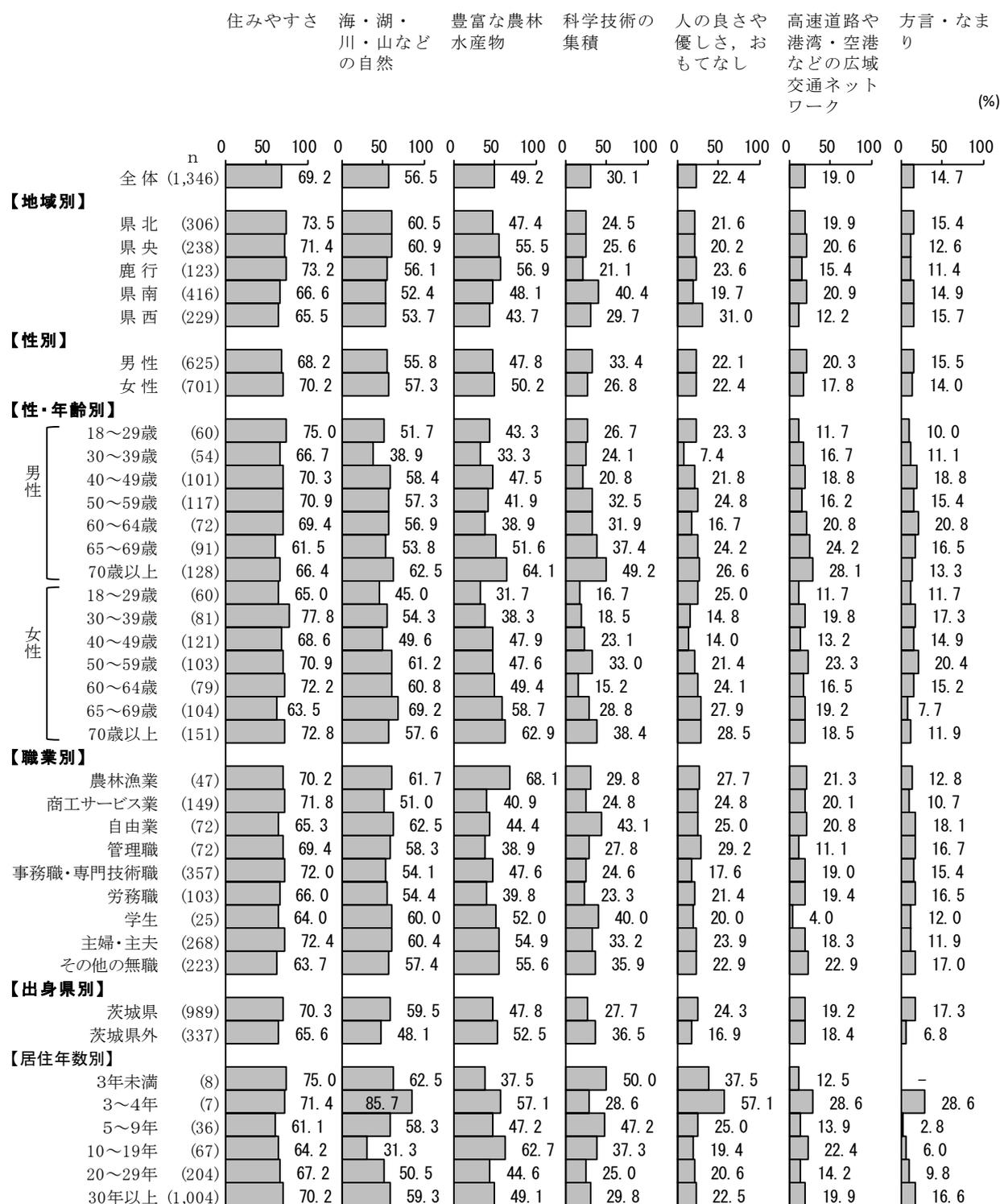
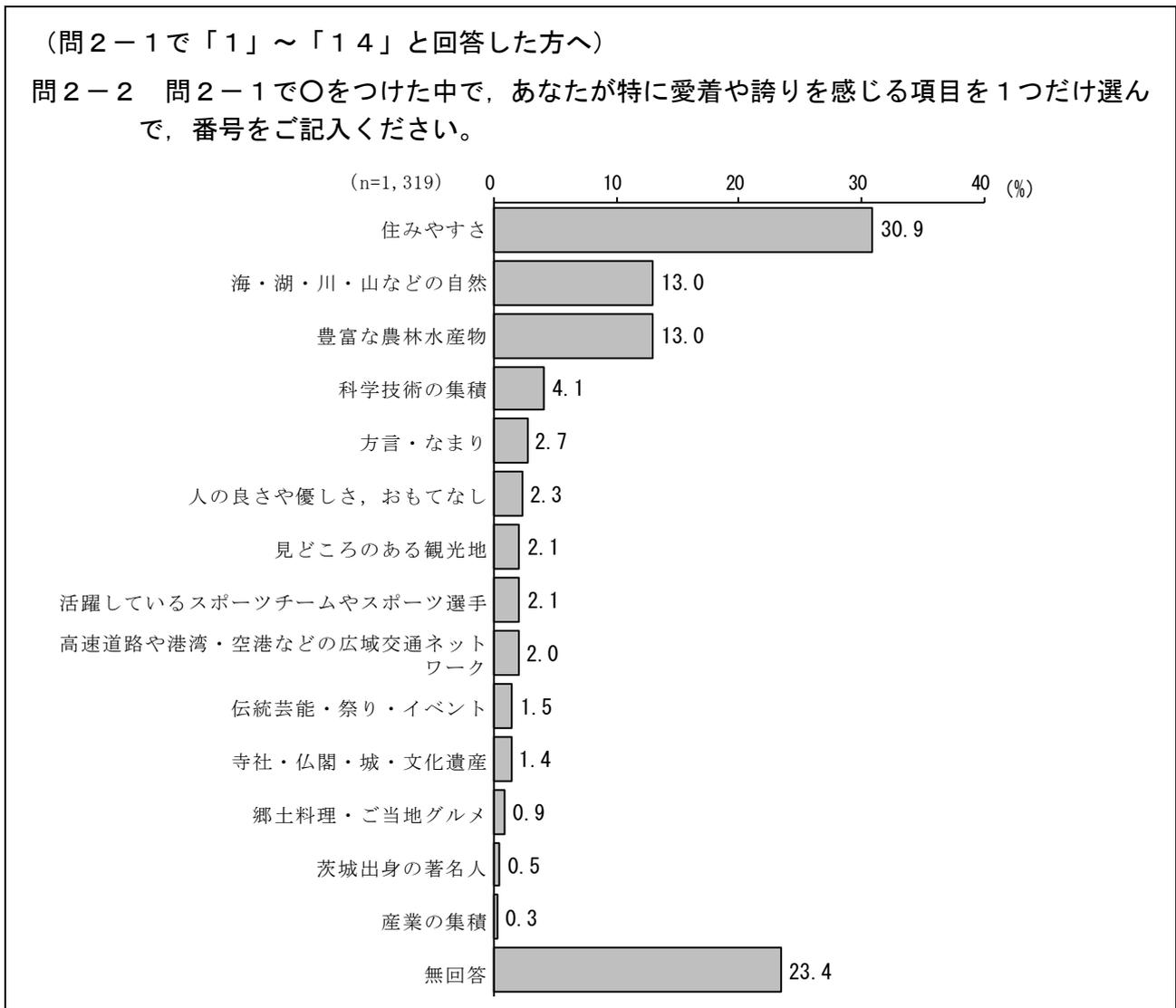


表 I 2-1-1 茨城県に愛着や誇りを感じるどころ  
(前回調査との比較—上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H30) n=1,346	住みやすさ 69.2	海・湖・川・山などの自然 56.5	豊富な農林水産物 49.2	科学技術の集積 30.1	人の良さや優しさ, おもてなし 22.4
前回調査 (H29) n=893	住みやすさ 67.5	海・湖・川・山などの自然 50.2	豊富な農林水産物 43.4	人の良さや優しさ, おもてなし 23.6	科学技術の集積 22.8

(3) 特に愛着や誇りを感じるところ

－「住みやすさ」が約3割－



茨城県に愛着や誇りを【持っている】と回答した方に、特に愛着や誇りを感じるところを1つだけ聞いたところ、「住みやすさ」(30.9%)が約3割で最も高く、次いで、「海・湖・川・山などの自然」(13.0%)と「豊富な農林水産物」(13.0%)が1割台半ばで続いている。

(4) 特に愛着や誇りを感じる項目を選んだ理由（自由記載の集計及び一部抜粋）

－「住みやすさ」を選んだ理由では、「自然災害が少ない」が最も多い－

（問2-1で「1」～「14」と回答した方へ）

問2-2 また、その項目を選んだ理由をなるべく具体的にご記入ください。

「住みやすさ」を選んだ方(n=407)

順位	項目	件数
第1位	自然災害が少ない	173
第2位	東京に近い／アクセスが良い	87
第3位	自然が豊か／恵まれている	71
第4位	気候がよい／温暖	63
第5位	交通の便がよい	41
第6位	生まれ育った場所／住み慣れている	28
第7位	平地が多い／土地が広い	18
〃	都会すぎず田舎すぎない	18
第9位	のどか・のんびり・ゆったりできる	17
第10位	物価が安い	15
第11位	人の良さ／やさしさ	13
第12位	静か	12
〃	車さえあれば生活しやすい	12
〃	農産物が豊富	12
第15位	道路が広い／整備されている	11
〃	商業施設が近くにある	11

「海・湖・川・山などの自然」を選んだ方(n=172)

順位	項目	件数
第1位	自然が豊か／恵まれている	51
第2位	海がある	30
第3位	筑波山	29
第4位	山がある	23
第5位	自然が身近にある	19
第6位	風景／景色がよい	16
第7位	霞ヶ浦	15
第8位	川がある	13
〃	海, 湖, 川, 山, 全てある	13
第10位	心が落ち着く／癒される	11
第11位	大洗	10
〃	短時間で行ける	10
第13位	自然災害が少ない	9
第14位	空気がきれい／おいしい	8
第15位	四季折々の楽しみがある	6
〃	都心に近い	6

「豊富な農林水産物」を選んだ方(n=171)

順位	項目	件数
第1位	おいしい	38
第2位	新鮮	21
第3位	安い	16
第4位	種類が豊富	13
第5位	贈答品として喜ばれる	9
第6位	海の幸と山の幸が両方ある	8
〃	日本の食を支えている	8
第8位	地産地消ができる	6
〃	生産者の努力	6

「科学技術の集積」を選んだ方(n=54)

順位	項目	件数
第1位	筑波研究学園都市	27
第2位	JAXA	10
第3位	大学・研究機関の集積	8

「方言・なまり」を選んだ方(n=35)

順位	項目	件数
第1位	親しみ・愛着がある	7
〃	「だっぺ」「だっぺよ」	7
第3位	ほっとする	6
第4位	会話・人間関係が円滑になる	5

「人の良さや優しさ、おもてなし」を選んだ方(n=30)

順位	項目	件数
第1位	優しい人が多い	7
第2位	近所づきあい	5
第3位	思いやりがある	4

※回答内容ごとに項目へ分類し、項目上位を抜粋。

※一人の回答が複数の内容に渡る場合には、それぞれの項目へ分類。

## 「住みやすさ」を選んだ理由

### 【記載内容の一部抜粋】

- 気候も温暖で、災害も少ない。豊富な自然で環境も良好。生活も利便性が高く、交通等のインフラも問題ない。首都圏にも至近である。(女性, 60～64歳)
- 自然災害が少ない県だと思われ、食べ物も豊かであり、交通機関も便利な方だと思います。(女性, 60～64歳)
- 農林水産物も身近に入手でき、交通も便利で都会にも近く、災害も少なく、高齢者ですけど今は住みやすく思います。運転しなくなった時がちょっと心配！(女性, 70歳以上)
- 田舎ではあるが、すぎないところ。交通の便が悪いが、悪すぎないところ。のんびり、ゆっくりすごせるところ。災害が少ない。(男性, 30～39歳)
- 自然災害の少なさ、農作物の豊富さ、都心へのアクセスのし易さ等による生活のし易さ。(男性, 40～49歳)
- 都会にはないゆったりとした所があって、でも不便ではない所がいい。(男性, 18～29歳)
- 私の住んでいる地域は田んぼばかりですが、とても落ち着くし空気も美味しく住みやすい。(女性, 18～29歳)

## 「海・湖・川・山などの自然」を選んだ理由

### 【記載内容の一部抜粋】

- 車で少し走れば山もあり、川、海、湖と自然が沢山ある所。(男性, 40～49歳)
- 筑波山は遠足で行ったり、初日の出をみたり、夜景をみたり、四季折々の眺めと思い出がたくさんあるから。(女性, 40～49歳)
- 実際に霞ヶ浦や筑波山へ行った時に自然の良さを感じたから。首都圏に住んでいた時期もあったため、茨城県の自然に魅力を感じた。(男性, 18～29歳)
- 都内へのアクセスもよく、つくば山や海など自然にもふれあえるところ。(男性, 30～39歳)
- 自然がいっぱい(海に面し、水が豊富に有り、山もすばらしい事)。(男性, 60～64歳)
- 都内など県外から帰ってくる際に緑など見慣れた光景をみると、ホッとすることから。自然の中に行くとストレスが浄化される。(女性, 30～39歳)

## 「豊富な農林水産物」を選んだ理由

### 【記載内容の一部抜粋】

- 農産物はもちろんだが水産物も豊富で全国的にも産出額が上位であること。また自分たちの生活の中にも新鮮なものが手に入りやすいため。(女性, 50～59歳)
- 山菜、野菜、くだもの等、いろいろな種類の農産物がとれ、海、川があり魚も豊富にとれ、新鮮な食材が手に入る。(女性, 65～69歳)
- れんこん、メロンの農産物や海産物が豊富で安価。(男性, 65～69歳)
- お米がおいしい。野菜・果物が豊富でおいしい！ 涸沼のしじみや海産物もいろいろあって楽しいです。(女性, 65～69歳)
- 野菜が安くおいしい。めずらしい物もある。(女性, 18～29歳)
- 米や野菜などの作物がおいしい。果物の生産量も多く、おいしいものが多い。他県の人に送ってあげると喜ばれる。海産物も新鮮なうちに食べることができるので良い立地である。(女性, 30～39歳)

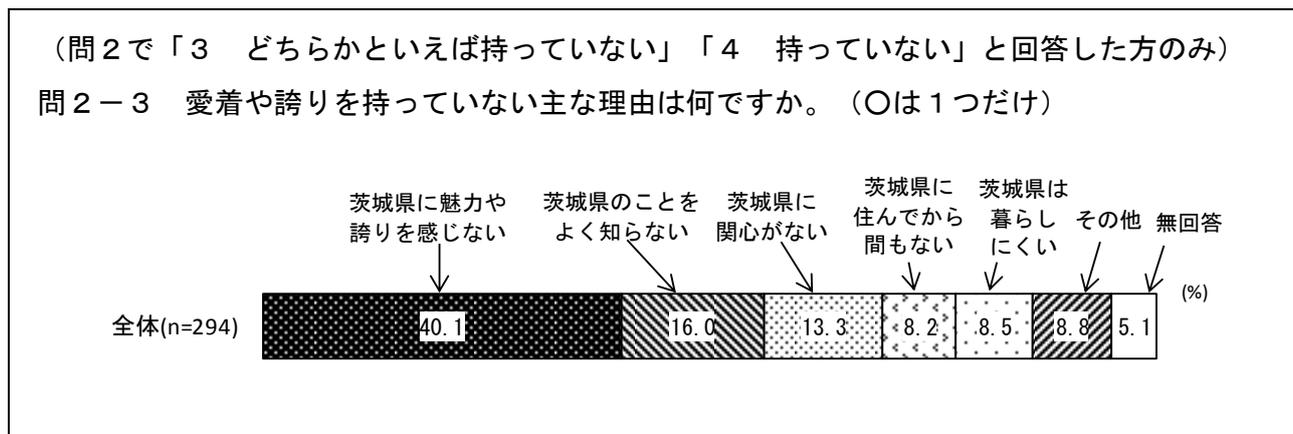
## 「科学技術の集積」を選んだ理由

### 【記載内容の一部抜粋】

- つくば市にある研究所や、一般公開で研究に触れることができるのが魅力。(女性, 40～49歳)
- 日本の基礎科学の充実と、それを活用した先端技術の開発が、本県で行われていることに誇りを感じている。(男性, 65～69歳)
- 県内に居住していながらなかなか見学の機会がなく残念に思っているが、つくば科学都市という世界的有名な技術者と施設があることを大変誇りに思っている。見学出来る内容をもっとPRして欲しい。(女性, 70歳以上)

(5) 茨城県に愛着や誇りを持たない理由

－「茨城県に魅力や誇りを感じない」が約4割－



茨城県に愛着や誇りを【持っていない】と回答した方に、持っていない理由を聞いたところ、「茨城県に魅力や誇りを感じない」(40.1%)が約4割と最も高く、次いで、「茨城県のことをよく知らない」(16.0%)が1割台半ばとなっている。

－県央で「茨城県に魅力や誇りを感じない」が5割－

地域別でみると、「茨城県に魅力や誇りを感じない」は、県央(50.0%)で5割と最も高くなっている。

－男性で「茨城県に魅力や誇りを感じない」が女性よりも約5ポイント高い－

性別でみると、「茨城県に魅力や誇りを感じない」は、男性(42.4%)が女性(37.3%)よりも約5ポイント高くなっている。

－茨城県外出身者で「茨城県のことをよく知らない」が茨城県出身者よりも約15ポイント高い－

出身県別でみると、「茨城県のことをよく知らない」は、茨城県外出身者(23.6%)が茨城県出身者(8.4%)よりも約15ポイント高くなっている。一方、「茨城県に魅力や誇りを感じない」は、茨城県出身者(50.3%)が茨城県外出身者(30.4%)よりも約20ポイント高くなっている。

－居住年数30年以上で「茨城県に魅力や誇りを感じない」が約5割－

居住年数別でみると、「茨城県に魅力や誇りを感じない」は、30年以上(49.7%)で約5割と最も高くなっている。

図I 2-3-1 茨城県に愛着や誇りを持たない理由  
 (地域別, 性別, 年齢別, 職業別, 出身県別, 居住年数別)

